

講演会「ボルト締結体の設計・組立・保守における技術動向」のご案内

日時：10 月 9 日（金） 14:00 開始（講演 90 分質疑 30 分）

17:15～懇親会

場所：機械振興会館内 6D-4 会議室（懇親会は機械振興会館 5 階 倶楽部 1）

講演：講演は英語で行います（通訳あり）会場定員は 50 名

※申込みが 50 名を超えた時点で Web 参加となります（Webinar 使用予定）

講演者の紹介：

Dr. Warren Brown（ウォーレン・ブラウン博士）は、現在、ASME (The American Society of Mechanical Engineers)のフランジ継手に関する特別作業部会（SWG-BFJ）の議長を務め、以前はフランジ継手に関する ASME PCC-1 小委員会の議長も務めていました。

ボルト締結体や使用適合性（Fitness-For-Service）に関する論文を 100 報以上発表しており、現在もこれらの分野における ASME の規格・基準の研究開発を主導しています。

また、西オーストラリア州ダンスボローを拠点に、Integrity Engineering Solutions, RT-Bolt, Jointegrity の 3 社のマネージング・ディレクターを務めています。

講演内容：

本講演では、すでに公表された研究成果と今後公表される予定の主要な技術について解説します。

フランジ継手の設計において、2026 年後半にコードケース（暫定規格）として新たな手法が公開される予定です。本設計法は、単に継手構成部品の寸法を決定するだけでなく、継手の健全性を重視しており、現行の ASME 設計法における重要な問題を解決することを目的としています。当該コードケースには、ASME Section VIII, Division 2, Part 5 に基づくボルト締結体の高度な計算法に関するガイダンスも含まれており、Part 4.16 を置き換えることとなります。また、本手法は ASME Section VIII, Division 1 の UG-44b を改善するための理論としても利用され、標準外フランジ継手に対する計算方法を提供します。さらに、ボルト締結体の組立において、スタッドボルトを 1 本ずつ交換する作業を対象とした定量的リスク評価手法を概説する新たな付録が最新の PCC-1（2026 年版）に盛り込まれました。本手法は、現行の PCC-2 ガイダンス（今後廃止予定）に比べて大きな進歩を示しています。最後に、ボルト締結体の腐食に関する評価手法が現在 API-579 向けに策定されており、同規格には継続運転および再使用の双方を対象とした 3 段階の腐食評価に関する指針が盛り込まれる予定です。

本講義ではこれらすべてのトピックを詳細に解説し、各項目の終了後に質疑応答の時間を設けます。

参加費：会員 2,000 円、非会員 7,000 円（懇親会は別途 5000 円）

申込方法：当会ホームページ（<http://jfri.jp>）または、<https://forms.cloud.microsoft/r/AsgH0vEWxc>

が右記二次元バーコードより直接お申込みください。

申込み締め切り：9 月 30 日（水）

